

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記  
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年8月1日～令和6年8月30日  
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載  
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載  
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
1	JIS	制定		プレス機械－安全性－第1部：一般安全要求事項	Machine tools safety – Presses – Part 1: General safety requirements	この規格は、常温の金属又は部分的に金属から成る材料、及びその他の同様の材料（例えば、ボール紙、プラスチック、ゴム、皮革など）を加工するプレス機械について、設計者、製造業者及び供給者が満足しなければならぬ技術的安全要求事項及び方法を規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・重要危険源のリスト ・安全要求事項及び保護方針 ・安全要求事項及び保護方針の検証 ・使用上の注意 ・附属書(規定) 最小距離の計算	JIS B 6410	ISO 16092-1:2017, Machine tools safety – Presses –Part 1: General safety requirements(MOD)	一般社団法人日本鍛圧機械工業会 一般財団法人日本規格協会
2	JIS	制定		プレス機械－安全性－第2部：機械プレスの安全要求事項	Machine tools safety – Presses – Part 2: Safety requirements for mechanical presses	この規格は、第1部に加えて、次のグループの機械プレス及び機械プレス生産システムの設計者、製造業者及び供給者が満足しなければならぬ技術的安全要求事項及び方法を規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・重要危険源のリスト ・安全要求事項及び保護方針 ・安全要求事項及び保護方針の検証 ・使用上の注意 ・附属書(規定) 最小距離の計算	JIS B 6410	ISO 16092-2:2019, Machine tools safety – Presses –Part 2: Safety requirement for mechanical presses(MOD)	一般社団法人日本鍛圧機械工業会 一般財団法人日本規格協会
3	JIS	制定		プレス機械－安全性－第3部：液圧プレスの安全要求事項	Machine tools safety – Presses – Part 3: Safety requirements for hydraulic presses	この規格は、第1部に追加して、常温の金属又は部分的に金属部を含む材料、及びその他の同様の材料（例えば、ボール紙、プラスチック、ゴム、皮革など）を加工することを意図した液圧プレスの設計者、製造業者及び供給者が適用する技術的安全要求事項及び保護方針を規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・重要危険源のリスト ・安全要求事項及び保護方針 ・安全要求事項及び保護方針の検証 ・使用上の注意 ・附属書(規定) 最小距離の計算 ・附属書(規定) 液圧システムの応答時間	JIS B 6410	ISO 16092-1:2017, Machine tools safety – Presses –Part 1: General safety requirements(MOD)	一般社団法人日本鍛圧機械工業会 一般財団法人日本規格協会
4	JIS	改正	B1192-2	ボールねじ－第2部：呼び径、呼びリード、ナット寸法及び取付ボルト（現行名称：ボールねじ－第2部：呼び径及び呼びリード）	Ball screws – Part 2: Nominal diameters, leads, nut dimensions and mounting bolts (Current name: Ball screws – Part 2: Nominal diameters and nominal leads)	この規格では、メートル系ボールねじの呼び径及び呼びリード、並びにボールねじナット及び取付けボルトの取付け寸法を規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・国際規格に合わせて、規格名称をボールねじ－第2部：呼び径、呼びリード、ナット寸法及び取付ボルトに変更する。 ・従来のボールねじの呼び径及び呼びリードとの組み合わせに加え、ナットと取付ボルトの取付け寸法を適用範囲に追加する。 ・ボールねじのナットの寸法等の統一を図るため、取付け寸法の箇条を追加する。		ISO 3408-2:2021, Ball screws – Part 2: Nominal diameters, leads, nut dimensions and mounting bolts – Metric series(MOD)	一般社団法人日本工作機器工業会 一般財団法人日本規格協会
5	JIS	改正	B2005-2-3	工業プロセス用調節弁－第2部：流れの容量－第3節：試験手順	Industrial-process control valves –Part 2-3: Flow capacity – Test procedures	この規格は、工業プロセス用調節弁に適用し、JIS B 2005-2-1の語式に使用する次の変数を決定するための流れの容量の試験手順について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験システムにおいて、試験精度の向上のため、弁型式による注意点、配管形状係数の考慮、計算例、流量計の分解能及び再現性の規定、圧力タップを設ける際の注意点、温度測定用熱電対の推奨仕様、トータル計測装置の精度の指示などを追加する。 ・試験の精度において、試験結果の適切な評価のため、試供品の流れの係数Cが精度5%以内となる為の条件として従来用いていたC/g2の比に加え、差圧比係数x1値の条件を追加する。本試験精度は試験流体が十分乱流状態の場合に適用されるため、付属書D1に層流における試験の考察を追加する。 ・試験流体において、試験精度の向上のため、非圧縮性流体においては流体への混入物の制限、腐食防止等の目的で添加物を用いた場合の評価の方法、基準などを追加する。圧縮性流体については、使用する流体の比熱比の制限を追加する。 ・非圧縮性流体に対する試験手順において、試験精度の向上のため、バルブのレイノルズ数を推奨値に至らせることが困難な場合は圧縮性流体での試験検討を推奨すること、試験時の最大流速の推奨値、流体圧力回復係数と配管形状係数との組み合わせ係数試験についてはレデュースまたは他の継手が取り付け付いていない状態で設置すること、より詳細なロングフォームの手順などを追加する。 ・非圧縮性流体に対するデータの評価手順において、試験結果の適切な評価のため、真水を使用しない場合の評価方法を追加する。 ・圧縮性流体に対する試験手順において、試験精度の向上のため、試験時の流れの定常性を安定させるための注意点、記録項目（試験設備と試験流体の説明、及びこの規格で規定されたことからの差異）、微小流量トリムに対する試験時において試験設備が適切でない場合の代替試験方法の使用などについて追加する。 ・圧縮性流体における試験データに対する試験手順において、試験精度の向上のため、Qmaxと同期したp1とT1の値を計算に用いる場合に最も精度が得られることを追記する。		IEC 60534-2-3:2015, Industrial-process control valves –Part 2-3: Flow capacity – Test procedures(IDT)	一般社団法人日本バルブ工業会 一般財団法人日本規格協会
6	JIS	改正	B2005-8-3	工業プロセス用調節弁－第8部：騒音－第3節：調節弁の空気力学的流動騒音の予測方法	Industrial-process control valves –Part 8-3: Noise considerations – Control valve aerodynamic noise prediction method	この規格は、圧縮性流体の流れによって、調節弁及び隣接した配管エクスパンダ内に発生する外部音圧レベルを予測する理論的手法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・記号及び単位において、計算式の追加・変更に伴い、記号及び単位を追加・変更する。 ・標準トリムバルブ、騒音低減トリムバルブ及びより高い出口マッハ数のバルブ類において、騒音の予測結果の精度向上のため、周波数成分の騒音を計算してから、その実効値を予測結果とする方式に変更する。 ・予測結果の精度向上のため、実験計測による音響効率係数を適用する予測法を、新たな箇条として追加する。 ・近年の高差圧制御では、騒音低減を目的に固定絞りを複数設置する必要があるため、その予測法を新たな箇条として追加する。 ・計算例題において、計算手順の見直しに伴い、例示する内容を変更する。		IEC 60534-8-3:2010, Industrial-process control valves –Part 8-3: Noise considerations –Control valve aerodynamic noise prediction method(IDT)	一般社団法人日本バルブ工業会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記  
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年8月1日～令和6年8月30日  
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載  
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載  
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
7	JIS	改正	B2005-8-4	工業プロセス用調節弁－第8部：騒音－第4節：調節弁の水力学的流動騒音の予測方法	Industrial-process control valves－Part 8-4: Noise considerations－Prediction of noise generated by hydrodynamic flow	JIS B 2005規格群のこの規格では、調節弁内で液体流れによって発生する騒音、及びバルブ下流及び配管外周で計測される最終結果の騒音レベルを予測する方法を規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義において、用語及び定義を追加する。 ・記号において、計算式の変更に伴い、記号を追加・修正する。 ・騒音の予測結果の精度向上のため、予備計算として、騒音予測に使用する数値の計算式を追加し、また、騒音予測の計算を管内騒音圧の計算、透過損失、外部騒音の面案で計算する手順に変更する。 ・多段のトリムをもつバルブの騒音予測に対応するため、計算手順、計算式及び参考図を追加する。 ・計算例を附属書として追加し、計算手順の見直しに伴い、計算例題として例示する内容を記載する。		IEC 60534-8-4:2015, Industrial-process control valves－Part 8-4: Noise considerations－Prediction of noise generated by hydrodynamic flow(IDT)	一般社団法人日本バルブ工業会	一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	B8616	パッケージエアコンディショナ(追補1)	Commercial air conditioners (Amendment 1)	この規格は、室内の快適な空気調和を目的とし、空気の循環によって冷房(暖房を兼ねるものを含む。)を行う、主として業務用の建物に用いられるように設計・製作されたエアコンディショナであって、電動式の圧縮機、室内・室外熱交換器、送風機などをつつ又は二つのキャビネットに収納したもので、空冷式のもの及び水冷式のもののうち、定格冷房標準能力が56 kW以下のものについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・種類の形式表記などにおいて、この規格の英文名称を見直す。 ・"用語及び定義"において、用語の"標準配管長さ(3.1.12)"の表2(冷房能力と標準配管長さ)を削除するなど、規定内容の見直しを行う。 ・"試験"において、"試験時の標準配管長さ"の規定を追加する。		(無)	一般社団法人日本冷凍空調工業会	一般財団法人日本規格協会
9	JIS	改正	F8101	船用鉛蓄電池	Lead-acid marine batteries	この規格は、船で、通信、灯火、非常用、エンジン始動用などの電源に用いる鉛蓄電池について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・種類の形式表記などにおいて、「SS形」などの種類の形式を表記する「形」の表記を、国内運用実態に合わせて「SS型」などと改める。 ・JIS C 8704規格群の引用規定において、最新のJIS C 8704-2-1又はJIS C 8704-2-2に対応した表記に改める。 ・試験方法(9.1.2)において、JIS C 8704規格群の改正に合わせて、寸法及び容量試験の表記を改める。外観については、一般的要求事項への分類に変更とする。 ・機能的特性において、SS形及びPS-S形蓄電池の容量特性は、国内仕様の規定からIEC 60896-11(据置型鉛蓄電池－第11部：半密閉式－一般要求事項及び試験方法)に規定された仕様に改める。また、HSE形及びMSE形蓄電池の容量特性についても、国内仕様の規定からIEC 60896-22(据置型鉛蓄電池－第22部：バルブ調整型－要求事項)に規定された仕様に改める。		(無)	一般社団法人電池工業会	一般財団法人日本規格協会
10	JIS	改正	K6257	加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－熱老化特性の求め方	Rubber, vulcanized or thermoplastic－Determination of heat ageing properties	この規格は、加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの熱老化特性を促進老化試験及び／又は熱抵抗性試験によって求める方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲において、強制循環式(A法)と自然対流式(B法)の大きく2つの分類から4種類の試験法に変更する。 ・試験の概要において、A法、B法をA法～D法に分類を変更し、D法として風速の速いオープンを追加する。 ・試験装置において、D法の風速の速いオープンの規定を追加する。また、自然換気型オープンを層流型強制換気オープンに表現を変更する。		ISO 188:2023, Rubber, vulcanized or thermoplastic－Accelerated ageing and heat resistance tests(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会	一般財団法人日本規格協会
11	JIS	改正	K6400-9	軟質発泡材料－第9部：抗菌効果の求め方	Flexible cellular polymeric materials－Part 9: Determination of antibacterial effectiveness	この規格は、連続気泡構造をもつ軟質発泡材料の表面における細菌に対する抗菌効果の求め方について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・試験操作(5.7)において、対応国際規格の規定に整合し24時間振とう培養した試験片に対して10回押してから培養液を採取することを追記する。 ・無加工試験片が準備できない場合、その旨を試験報告書に記載する。 ・規格利用者の利便性のため改正内容に則した写真を追加する。		ISO 23641:2021, Flexible cellular polymeric materials－Determination of antibacterial effectiveness(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会	一般財団法人日本規格協会
12	JIS	改正	R3252	光学及びフォトニクス－光学材料及び部品－レーザ干渉法による光学ガラスの均質度の測定方法(現行名称：ガラスのレーザ干渉法による均質度の測定方法)	Optics and photonics－Optical materials and components－Test method for homogeneity of optical glasses by laser interferometry (現行名称：Measuring method for the homogeneity of glasses by laser interferometry)	この規格は、レーザ干渉法による光学ガラスの屈折率の均質度の測定方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・規格名称を、対応国際規格に整合させて変更する。 ・対応国際規格に整合させて、測定方法として、PHom法、FT-PSI法及びUSCI法を追加する。 ・測定方法の追加に伴い、"原理"、"測定装置"、"試料の調整"、"測定"などの箇条において、新方法についての要求事項を追加する。 ・対応国際規格に整合させて、レーザ干渉計、均質度測定のための温度安定性、試料の平坦度、波面のPV(peak to vally)値の取得方法及びPHom法についての参考情報を附属書として追加する。		ISO 17411:2022, Optics and photonics－Optical materials and components－Test method for homogeneity of optical glasses by laser interferometry(MOD)	一般社団法人日本光学硝子工業会	一般財団法人日本規格協会